

第 19 回通常総会資料

- 1、日 時 令和 3 年 5 月 16 日(日)10 時開会
- 2、会 場 サーフビレッジ多目的ルーム
神奈川県藤沢市鵠沼海岸 1-17-3 2 階
- 3、式次第
 - ① 開会の辞
 - ② 議長選出
 - ③ 議 案
 - 第 1 号議案 令和 2 年度事業報告（案）承認に関する件
 - 第 2 号議案 令和 2 年度会計報告（案）承認に関する件
 - 第 3 号議案 令和 2 年度監査報告に関する件
 - 第 4 号議案 令和 3 年度事業計画（案）承認に関する件
 - 第 5 号議案 令和 3 年度予算書（案）承認に関する件その他
 - ④ 議長解任
 - ⑤ 閉会の辞



特定非営利活動法人

西浜サーフライフセービングクラブ

第1号議案

令和2年度事業報告書

自：令和2年4月1日 至：令和3年3月31日

特定非営利活動法人
西浜サーフライフセービングクラブ

① 夏季海水浴場等における監視・救助活動事業（パトロール事業） 6,891,964 円

1. 夏季監視救助活動（西浜海岸、東浜海岸、江ノ島岩屋その他）
2. ライフガードテスト・夏季ガード顔合わせ・夏季準備の実施・症例検討会の開催
3. 各種訓練

② 水辺の各種スポーツイベントを安全面から支援し振興を図る事業（イベントパトロール事業） 470,365 円

1. イベント等の監視救助活動……………新型コロナの為に中止
2. サーフビレッジ資器材整備・清掃
3. IRB・PWC 練習会（感染予防対策を行い実施）……………毎月開催（11～3月）
4. シーバード西浜 海上保安庁との合同訓練……………12月

③ ライフセービング活動による水辺の安全、教育事業（ジュニアユース事業） 5,367,932 円

1. 年間ジュニアユースプログラムの開催……………基本的に月2回
夏季短期プログラム（新型コロナの為に、規模縮小）
各種ジュニアライフセーバー教室（新型コロナの為に中止）
2. ライフセービングプログラムの開催……………新型コロナの為に中止
3. ジュニアユース保護者対象プログラム……………保護者会の開催、資格取得サポート等
4. 各種大会……………（新型コロナを全て中止）
5. 低学年対象レース……………（新型コロナの為に中止）

④ 海岸等に関する環境保全活動及び地元地域を繋げる事業（環境イベント事業） 542,156 円

1. ビーチクリーン・殿網清掃の開催……………毎月第2日曜日 計7開催
（新型コロナのため規模を縮小）
2. オーシャンクリーンの開催……………1回開催（11月）
（新型コロナのため規模を縮小）
3. 内部イベントの開催……………通常総会・春のクラブ会（新型コロナのため規模を縮小）
夏クラブ会（新型コロナのため中止）
秋のクラブ会：西浜CUP（10月）
ボーリング大会・追いコン（新型コロナのため中止）
4. 外部イベントの開催……………新春餅つき大会「冬のクラブ会」山本公園（新型コロナのため中止）

⑤ ライフセービングスポーツに関する事業（スポーツ推進事業） 154,533 円

1. ライフセービング競技会への参加……………(新型コロナの為すべて中止)
2. 練習会及び合宿の開催……………練習会(オーシャン、ビーチ、プール)(新型コロナのため縮小)
ライフガードテスト(新型コロナの為実施せず)
マスターズ練習会(新型コロナの為縮小)
3. クラブ員交流イベントの開催……………西浜カップ(10月)(新型コロナの為縮小)
4. JLA ハイパフォーマンスプログラム強化指定選手エントリー

⑥ ライフセービングの資格講習会及び安全指導に関する事業（育成事業） 718,232 円

1. JLA Academy 資格講習会開催……………ベーシック・アドバンス・BLS・更新・WS・サポーター・PLG
2. NISHIHAMA learning の開催……………クラブ員同士の学び合い場(勉強会)

その他、管理部門〈事務局など〉 14,145,082 円

- ・ JLA・KLA 主催パトロール報告・総会への参加
- ・ JLA への役員・専門委員の派遣
- ・ 各種関連会議への参加
- ・ 地域イベントへの参加
- ・ クラブスポンサー獲得へ向けての渉外活動
- ・ クラブ内外へ向けての情報発信（HP・FB・パンフレット等）
- ・ 会員・会計・器材の管理
- ・ 理事会開催（月1回の定例会）

以 上

貸 借 対 照 表

令和 3年 3月 31日現在

特定非営利活動法人西浜サーフライフセービングクラブ

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1.流動資産			
現金	122,636		
小口現金	485,998		
当座預金	4,057,536		
当座預金	5,000		
普通預金	3,484,189		
普通預金	7,843,104		
普通預金	2,855,489		
未収入金	1,222,300		
前渡金	1,720,400		
流動資産合計		21,796,652	
2.固定資産			
(1)有形固定資産			
造作	1,152,572		
船舶	1		
車両運搬具	862,500		
器具備品	103,861		
有形固定資産計	2,118,934		
固定資産合計		2,118,934	
資産合計			23,915,586
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	759,362		
預り金	918		

科 目	金 額		
流動負債合計		760,280	760,280
2.固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			
Ⅲ正味財産の部			
前期繰越正味財産		23,717,876	23,155,306
当期正味財産増減額		△ 562,570	
正味財産合計			
負債及び正味財産合計			23,915,586

活動計算書

令和 2年 4月 1日 から 令和 3年 3月 31日 まで

特定非営利活動法人 西浜サーフライフセービングクラブ

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員	343,000		
一般会員	785,000		
高校生会員	100,000	1,228,000	
2. 受取寄附金		129,000	
3. 受取助成金等		3,386,000	
4. 事業収益			
パトロール委員会	6,935,980		
イベントパトロール委員会	420,000		
ジュニア・ユース委員会	6,743,750		
育成委員会	705,720	14,805,450	
5. その他収益			
受取利息	138		
その他	537,705	537,843	
経常収益計			20,086,293
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	4,806,500		
福利厚生費	2,464,818		
人件費計	7,271,318		
(2)その他経費			
諸管理費	710,325		
物品購入費	3,411,230		
通信費	242,843		

科 目	金 額		
消耗品費	890,438	14,145,082	
修繕費	89,842		
保険料	154,430		
燃料費	162,290		
租税公課	40,000		
交際接待費	32,292		
賃借料	199,209		
旅費交通費	692,740		
雑費	248,125		
その他経費計	6,873,764		
事業費計			
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	600,000		
福利厚生費	39,740		
人件費計	639,740		
(2) その他経費			
広告宣伝費	163,764		
旅費交通費	73,160		
通信費	26,942		
水道光熱費	645,884		
消耗品費	1,246,088		
修繕費	580,470		
保険料	184,351		
租税公課	483,800		
交際接待費	25,747		
支払家賃	720,000		
減価償却費	709,028		

科 目	金 額		
賃借料	81,880		
顧問報酬	385,000		
事務費	32,490		
登録料	89,550		
雑費	415,887		
その他経費計	5,864,041		
管理費計		6,503,781	
経常費用計			20,648,863
当期経常増減額			△ 562,570
Ⅲ 経常外収益			
経常外収益計			0
Ⅳ 経常外費用			
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			△ 562,570
前期繰越正味財産額			23,717,876
次期繰越正味財産額			23,155,306

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて以下のとおり償却をしています。
建物付属設備・・・定額法、定率法
船舶・・・定率法
車両運搬具・・・定率法
器具備品・・・旧定率法
- (2) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業費の内訳

(単位：円)

科目	バトロール事業	イベントバトロール事業	ジュニアユース事業	環境イベント事業	スポーツ推進事業	育成事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益									
1.受取会費								1,228,000	1,228,000
2.受取寄附金								129,000	129,000
3.受取助成金等								3,386,000	3,386,000
4.事業収益	6,935,980	420,000	6,743,750			705,720	14,805,450		14,805,450
5.その他収益			266,300				266,300	271,543	537,843
経常収益計	6,935,980	420,000	7,010,050	0	0	705,720	15,071,750	5,014,543	20,086,293
II 経常費用									
(1) 人件費									
給料手当		5,000	4,366,000			435,500	4,806,500	600,000	5,406,500
福利厚生費	1,877,041	56,427	193,642	138,490	83,782	115,436	2,464,818	39,740	2,504,558
人件費計	1,877,041	61,427	4,559,642	138,490	83,782	550,936	7,271,318	639,740	7,911,058
(2) その他経費									
諸管理費	710,325						710,325		710,325
物品購入費	3,057,475		340,305		13,450		3,411,230		3,411,230
広告宣伝費								163,764	163,764
通信費	193,207	2,800	38,104		740	7,992	242,843	26,942	269,785
水道光熱費							0	645,884	645,884
消耗品費	394,388	152,616	117,779	194,031	10,438	21,186	890,438	1,246,088	2,136,526
修繕費	31,517	49,662	6,815			1,848	89,842	580,470	670,312
保険料	154,430						154,430	184,351	338,781
租税公課	40,000						40,000	483,800	523,800
交際接待費		23,662	5,660			2,970	32,292	25,747	58,039
科目	バトロール事業	イベントバトロール事業	ジュニアユース事業	環境イベント事業	スポーツ推進事業	育成事業	事業部門計	管理部門	合計
支払家賃								720,000	720,000
減価償却費								709,028	709,028
燃料費	69,229	81,028		12,033			162,290		162,290
賃借料	73,260	21,120	68,500	22,229		14,100	199,209	81,880	281,089
顧問報酬								385,000	385,000
事務費								32,490	32,490
登録料								89,550	89,550
旅費交通費	267,888	58,500	89,430	133,894	35,228	107,800	692,740	73,160	765,900
雑費	23,104	19,550	141,697	41,479	10,895	11,400	248,125	415,887	664,012
その他経費計	5,014,823	408,938	808,290	403,666	70,751	167,296	6,873,764	5,864,041	12,737,805
経常費用計	6,891,864	470,365	5,367,932	542,156	154,533	718,232	14,145,082	6,503,781	20,648,863
当期経常増減額	44,116	△ 50,365	1,642,118	△ 542,156	△ 154,533	△ 12,512	926,668	△ 1,489,238	△ 562,570

3. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は23,155,306円ですが、そのうち3,300,000円はサーフボード購入、サーフボード輸入輸送費、周年記念事業及び2021ワールドマスターズ積立金に使用される財産です。したがって、使途が制約されていない正味財産は19,855,306円です。

内容	前期繰越額	当期受入額	当期減少額	次期繰越額	備考
サーフボード積立金	1,000,000	0	0	1,000,000	サーフボード購入のための積立金
サーフボード輸入輸送費積立金	400,000	0	0	400,000	サーフボード輸入輸送費積立金
周年記念事業積立金	1,400,000	200,000	0	1,600,000	周年記念事業を行うための積立金
2021ワールドマスターズ積立金	150,000	150,000	0	300,000	2021ワールドマスターズゲームス積立金
合計	2,950,000	350,000	0	3,300,000	

4. 固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
建物付属設備	3,411,618	0	0	3,411,618	2,259,046	1,152,572
船舶	1,267,112	0	0	1,267,112	1,267,111	1
車両運搬具	0	1,150,000	0	1,150,000	287,500	862,500
器具備品	766,850	0	0	766,850	662,989	103,861
合計	5,445,580	1,150,000	0	6,595,580	4,476,646	2,118,934

財 産 目 録

特定非営利活動法人 西浜サーフライフセービングクラブ

令和 3 年 3 月 31 日

摘 要	内 訳	金 額
資 産 (流 動 資 産)		
現 金	手許残高	122,636
小 口 現 金	パトロール委員会 74,055 イベントパトロール委員会 161,309 ジュニア・ユース委員会 114,859 育成委員会 34,286 スポーツ推進委員会 19,607 環境イベント委員会 81,882	485,998
当 座 預 金	日本郵政公社 4,057,536 日本郵政公社 5,000	4,062,536
普 通 預 金	横浜銀行 片瀬支店 3,484,189 日本郵政公社 7,843,104 横浜銀行 片瀬支店 2,855,489	14,182,782
未 収 入 金	ジュニア・ユース会費2・3月分	1,222,300
前 渡 金	ミッドコーストマリ নিজャパン	1,720,400
(流 動 資 産 計)		21,796,652
(固 定 資 産)		
造 作	シャワー室他 154,832 艇庫屋根 427,500 トイレ他防水工事 570,240	1,152,572
船 舶	IRB 船舶	1
車 両 運 搬 具	四輪バギー	862,500
器 具 備 品	パソコン一式 1 トレーニング機器 103,860	103,861
(固 定 資 産 計)		2,118,934
資 産 合 計		23,915,586
負 債 (流 動 負 債)		
未 払 金	給料・賃金3月分	759,362
預 り 金	源泉所得税	918
(流 動 負 債 計)		760,280
負 債 合 計		760,280
正 味 財 産		23,155,306

第3号議案

特定非営利活動法人 西浜サーフライフセービングクラブ
第19回 通常総会議長 殿

令和2年度会計監査報告書

令和2年度会計報告書につきまして監査した結果、
適正かつ公正に処理されておりましたので、ここに
ご報告いたします。

令和3年5月16日

特定非営利活動法人
西浜サーフライフセービングクラブ

監事 宮野 実



第4号議案

令和3年度事業計画書

自：令和3年4月1日 至：令和4年3月31日

特定非営利活動法人
西浜サーフライフセービングクラブ

① 夏季海水浴場等における監視・救助活動事業（パトロール事業） 1,662,000 円

1. 夏季監視救助活動（西浜海岸、東浜海岸、江ノ島岩屋その他）
2. ライフガードテスト・夏季ガード顔合わせ・夏季準備の実施・症例検討会の開催
3. 各種訓練

② 水辺の各種スポーツイベントを安全面から支援し振興を図る事業（イベントパトロール事業）

1,295,000 円

1. イベント等の監視救助活動……………KLA 神奈川選手権：湯河原（5月）
トリアスロン：追浜（6月）
湘南 OWS 2021 スイムツアー：東浜（8月）
JLA 南関東予選：未定（9月）
JLA 全日本選手権：西浜（10月）
2. サーフビレッジ資器材整備・清掃
3. IRB・PWC 練習会……………毎月開催（11～3月）
4. シーバード西浜……………海上保安庁との合同訓練（4月）
ジャパンインターナショナルボートショー出展（4月）
セーリング競技水域警備（7月8月）
シーバード JET カレッジ（10月）

③ ライフセービング活動による水辺の安全、教育事業（ジュニアユース事業） 7,342,500 円

1. 年間ジュニアユースプログラムの開催……………基本的に月2回
夏季短期プログラム
各種ジュニアライフセーバー教室の開催（1日体験）
2. ライフセービングプログラムの開催……………未就学児、知的障害者等を対象
3. ジュニアユース保護者対象プログラム……………保護者会の開催，資格取得サポート等
4. 各種大会

④ 海岸等に関する環境保全活動及び地元地域を繋げる事業（環境イベント事業） 731,328 円

1. ビーチクリーン・殿網清掃の開催……………毎月第2日曜日 計12開催
2. オーシャンクリーンの開催……………2回開催（4,11月）
3. 内部イベントの開催……………通常総会・春のクラブ会（4月）

- 夏クラブ会の開催(8月)
サンセットビーチクリーン(7,8月)
秋のクラブ会：西浜カップ(10月)
4. 外部イベントの開催……………新春餅つき大会「冬のクラブ会」山本公園(1月)

⑤ ライフセービングスポーツに関する事業（スポーツ推進事業） 888,500 円

1. ライフセービング競技会への参加
2. 練習会及び合宿の開催……………練習会（オーシャン、ビーチ、プール）（通年）
ライフガードテスト(4月～8月)
マスターズ練習会(通年)
3. クラブ員交流イベントの開催……………西浜カップ(10月)
4. JLA ハイパフォーマンスプログラム強化指定選手エントリー

⑥ ライフセービングの資格講習会及び安全指導に関する事業（育成事業） 522,800 円

1. JLA Academy 資格講習会開催……………ベシック・BLS・更新・WS・サポーター
2. NISHIHAMA learning の開催……………クラブ員同士の学び合い場(勉強会)

その他、管理部門（事務局など） 5,701,661 円

- ・ JLA・KLA 主催パトロール報告・総会への参加
- ・ JLA への役員・専門委員の派遣
- ・ 各種関連会議への参加
- ・ 地域イベントへの参加
- ・ クラブスポンサー獲得へ向けての渉外活動
- ・ スポンサーコラボ企画（ハンド・アンド・サム治療院）
- ・ クラブ内外へ向けての情報発信（HP・FB・パンフレット等）
- ・ 会員・会計・器材の管理
- ・ 理事会開催（月1回の定例会）

以　　上

第5号議案

令和3年度(2021年度) 活動予算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日

特定非営利活動法人西浜サーフライフセービングクラブ

1.特定非営利活動事業に係る事業会計

科 目		令和2年度			備 考
		令和2年度	令和3年度		
I	収益の部	予算案	予算案	前年予算比	
1	会費収益	1,360,000	1,446,000	106.3%	
	ア 入会金	0	0		平成29年度より入会金0円
	イ 会費(正会員)	441,000	392,000		56名
	ウ 会費(一般会員)	915,000	960,000		192名
	エ 会費(高校生会員)	4,000	94,000		ユースプログラム未登録枠 47名
2	事業収益	16,058,442	15,247,750	95.0%	
	①夏季海水浴場等における監視・救助活動事業(パトロール事業)	7,411,442	5,520,000	74.5%	パトロール委員会
	ア 夏季海水浴場における監視・救助活動・マナーアップ事業	5,414,062	5,400,000	99.7%	2020年度は45日間。今年度は西浜65日、東浜63日を予定。
	イ 東浜監視船業務	997,380	997,380	100.0%	
	ウ 西浜パトロールユニフォーム販売	1,000,000	120,000	12.0%	ラッシュ8,000円×10着、パンツ6,000円×10着
	②水辺の各種スポーツイベントを安全面から支援し振興を図る事業(イベントパトロール事業)	1,034,000	1,314,000	127.1%	イベントパトロール委員会
	ア 追浜トライアスロン	350,000	350,000	100.0%	
	イ 全日本LS選手権	450,000	450,000	100.0%	東日本予選含む
	ウ 湘南オープンウォータースイム	54,000	54,000	100.0%	
	エ KLA、東伊豆 PWCレンタル費	60,000	90,000	150.0%	東伊豆が加わる
	オ ビレッジ管理	120,000	120,000	100.0%	
	カ PWC練習会助成金(シーバード)	0	50,000		
	キ 横浜ポートショウ	0	200,000		新規事業、グライドトライアスロン予算はなし
	③ライフセービング活動による水辺の安全、教育事業(ジュニアユース事業)	6,612,000	7,562,750	114.4%	ジュニアユース委員会
	ア 年間ジュニアプログラムの開催事業	1,955,000	1,955,000	100.0%	
	イ 年間ユースプログラムの開催事業	1,791,000	1,607,750	89.8%	
	ウ 低学年対象レース	50,000	50,000	100.0%	地域クラブ交流レース
	エ ジュニア合宿	250,000	250,000	100.0%	
	オ ユース合宿	900,000	900,000	100.0%	
	カ ジュニア特別活動	126,000	1,260,000	1000.0%	
	キ ユース特別活動	1,470,000	1,470,000	100.0%	
	ク 知的障害者・幼児プログラム	70,000	70,000	100.0%	
	ケ 藤沢市協働事業(ジュニアLS教室)	0	0		協働事業は実施検討中。(藤沢市教育委員会)
	④海岸等に関する環境保全活動及び地元地域を繋げる事業(環境イベント事業)	590,000	280,000	47.5%	環境イベント委員会
	ア イベント参加費	510,000	200,000	39.2%	夏のクラブ会、納会、餅つき
	イ イベント単独寄付金	80,000	80,000	100.0%	餅つき町内会寄付金、クラブ会・納会寄付金
	⑤ライフセービングスポーツに関する事業(スポーツ推進事業)	0	0	0.0%	スポーツ推進委員会
	ア ユニホーム販売	0	0		
	イ クラブ内コーチング(特別P)	0	0		
	⑥ライフセービングの資格講習会及び安全指導に関する事業(育成事業)	411,000	571,000	138.9%	育成委員会
	ア 更新講習会	90,000	90,000	100.0%	2月、3月に2回実施予定
	イ BLS講習会	55,000	55,000	100.0%	4月実施予定
	ウ IIRB講習会	0	0		未開催予定
	エ サポーター講習会(ジュニア保護者)	0	0		learning 3回実施予定
	オ WS講習会	26,000	26,000	100.0%	4月実施予定
	カ BASIC講習会	240,000	240,000	100.0%	6月-7月実施予定
	キ リーダー講習会	0	0		未開催予定
	ク アドバンス講習会	0	160,000		3月実施予定
	ケ C級審判講習会	0	0		未開催予定
3	協賛金		0		
4	助成金		0		
5	寄附金	321,000	312,000	97.2%	
7	雑収益	450,000	320,000	71.1%	利息、グッズ代、ラック使用料など
	ア グッツ代	200,000	200,000	100.0%	ネクタイ販売など
	イ 事務局使用料	0	0		シャワー代、宿代など
	ウ ボード・ski屋外ラック使用料	120,000	120,000	100.0%	
	エ その他	0	0		
8	単年度収益合計	18,189,442	17,325,750	95.3%	
9	前年度繰越金	23,717,876	23,155,306	97.6%	
10	総収益合計	41,907,318	40,481,056	96.6%	

		令和2年度	令和3年度	
II	費用の部	予算案	予算案	前年予算比
1	事業費	14,919,300	12,442,128	83.4%
	①夏季海水浴場等における監視・救助活動事業（バトロール事業）	4,668,000	1,662,000	35.6%
	ア.夏季海水浴場における監視・救助活動事業費	1,000,000	1,000,000	100.0%
	イ.打合せ会議費（バトロール・症例検討会24回、スキルアップ等16回）	320,000	282,000	88.1%
	ウ.バトロール関係器材（チューブ、感染予防用品、双眼鏡）	150,000	150,000	100.0%
	エ.夏期2か月女子宿費、清掃費、+レオパレス等	360,000	0	0.0%
	オ.夏のクラブ会、納会費	180,000	180,000	100.0%
	カ.バトロール関連映像撮影費、広報用	200,000	0	0.0%
	キ.バトロールユニフォーム一括購入	2,458,000	0	0.0%
	ク.タワー購入積立	0	50,000	
	②水辺の各種スポーツイベントを安全面から支援し振興を図る事業（イベントバトロール事業）	1,105,000	1,295,000	117.2%
	ア.追浜トライアスロン	270,000	270,000	100.0%
	イ.全日本LS選手権	308,000	308,000	100.0%
	ウ.PWC維持費用（シーバード登録含む）	100,000	150,000	150.0%
	エ.湘南オープンウォータースイム	32,000	32,000	100.0%
	オ.トライアスロン練習会サポート	0	0	
	カ.ピレッジ管理	100,000	100,000	100.0%
	キ.交通費用、打ち合わせ会議費	255,000	255,000	100.0%
	ク.技術訓練費用（燃料等）	40,000	40,000	100.0%
	ケ.横浜ポートショウ	0	140,000	
	③ライフセービング活動による水辺の安全、教育事業（ジュニアユース事業）	7,640,500	7,342,500	96.1%
	ア.年間ジュニアプログラムの開催事業	1,951,700	2,011,700	103.1%
	イ.年間ユースプログラムの開催事業	1,791,000	1,791,000	100.0%
	ウ.低学年対象レース	45,000	45,000	100.0%
	エ.ジュニア合宿	244,800	244,800	100.0%
	オ.ユース合宿	851,000	869,000	102.1%
	カ.ジュニア特別活動	822,000	846,000	102.9%
	ク.ユース特別活動	1,470,000	1,470,000	100.0%
	キ.知的障害者・幼児プログラム	65,000	65,000	100.0%
	キ.藤沢市協働事業（ジュニアLS教室）	400,000	0	0.0%
	④海岸等に関する環境保全活動及び地元地域を繋げる事業（環境イベント事業）	530,000	731,328	138.0%
	ア.イベント事業費（飲食代、食材、消耗品費）	270,000	342,500	126.9%
	イ.クラブイベント交通費	130,000	258,828	199.1%
	ウ.映像撮影（外部）	0	0	
	エ.ビーチクリーン用資器材、消耗品	130,000	130,000	100.0%
	⑤ライフセービングスポーツに関する事業（スポーツ推進事業）	598,000	888,500	148.6%
	ア.競技会へのスタッフ引率者交通費、器材運搬費	116,000	595,000	512.9%
	イ.西浜合宿経費	13,500	13,500	100.0%
	ウ.西浜カップ	50,000	100,000	200.0%
	エ.社会人練習会、全体練習会	80,000	70,000	87.5%
	オ.消耗品費、雑費	40,500	50,000	123.5%
	カ.打合せ会議費（6回）	60,000	60,000	100.0%
	キ.コーチング費用（特別P）	238,000	0	0.0%
	⑥ライフセービングの資格講習会及び安全指導に関する事業（育成事業）	377,800	522,800	138.4%
	ア.更新講習会	32,000	31,000	96.9%
	イ.BLS講習会	27,600	38,600	139.9%
	ウ.IRB講習会	0	0	
	エ.サポーター講習会（ジュニア保護者）	6,000	6,000	100.0%
	オ.WS講習会	18,600	18,600	100.0%
	カ.BASIC講習会	158,600	158,600	100.0%
	キ.アドバンス講習会	0	120,000	
	ク.打合せ会議費、県外講習会補助金	130,000	145,000	111.5%
	ケ.消耗品購入	5,000	5,000	100.0%
2	管理費	5,454,012	6,101,661	111.9%
	管理費	4,754,012	5,701,661	119.9%
	ア.物品購入費	100,000	100,000	100.0%
	イ.事務局謝礼	600,000	600,000	100.0%
	ウ.福利厚生費	116,266	39,740	34.2%
	エ.広告宣伝費	311,960	163,764	52.5%
	オ.旅費交通費	157,370	73,160	46.5%
	カ.通信費	48,532	26,942	55.5%
	キ.水道光熱費	658,359	645,884	98.1%
	ク.消耗品費	343,968	343,968	100.0%
	ケ.修繕費	68,843	580,470	843.2%
	コ.保険料	117,407	184,351	157.0%
	サ.租税公課	378,300	483,800	127.9%
	シ.交際接待費	65,500	25,747	39.3%
	ス.支払家賃	720,000	720,000	100.0%
	セ.減価償却費	447,414	709,028	158.5%
	ソ.賃借料	33,264	81,880	246.2%
	タ.顧問報酬	379,200	385,000	101.5%
	チ.事務費	12,796	32,490	253.9%
	ツ.登録料	89,000	89,550	100.6%
	テ.雑費	105,833	415,887	393.0%
	その他	700,000	400,000	57.1%
	ア.グッズ代	500,000	200,000	40.0%
	イ.サーフボード輸入輸送費	0	0	
	ウ.その他（予備費）	200,000	200,000	100.0%
	単年度費用合計	20,723,312	18,893,789	91.2%
3	特別予算	350,000	350,000	
	サーフボード積立金	0	0	
	周年記念事業積立金	200,000	200,000	
	2022ワールドマスタースゲームス 積立金（特別P）	150,000	150,000	
	特別予算費用合計	350,000	350,000	
4	来年度繰越金	21,184,006	21,587,267	
	総費用合計	41,907,318	40,481,056	
	単年度収支差額	▲ 2,533,870	▲ 1,568,039	

特定非営利活動法人 西浜サーフライフセービングクラブ 通常総会議事録

- 1 日時 令和3年5月16日 10時から11時まで
- 2 場所 サーフビレッジ多目的ホール 藤沢市鵠沼海岸一丁目17番3号
- 3 正会員総数 57名
- 4 出席者の数 40名（うちリモート出席10名、表決委任者26名）
- 5 議事録署名人 長谷雄大、園田俊

6 議案

- 第1号議案 令和2年度事業報告 承認に関する件
- 第2号議案 令和2年度会計報告 承認に関する件
- 第3号議案 令和2年度監査報告に関する件
- 第4号議案 令和3年度事業計画 承認に関する件
- 第6号議案 令和3年度予算書 承認に関する件

7 議事の経過の概要及び議決の結果

- 第1号議案 令和2年度事業報告 承認に関する件
令和2年度事業報告を諮ったところ、満場異議なく承認された。
- 第2号議案 令和2年度会計報告 承認に関する件
令和2年度会計報告を諮ったところ、満場異議なく承認された。
- 第3号議案 令和2年度監査報告に関する件
令和2年度監査報告を諮ったところ、満場異議なく承認された。
- 第4号議案 令和3年度事業計画 承認に関する件
令和3年度事業計画を諮ったところ、満場異議なく承認された。
- 第6号議案 令和3年度予算書 承認に関する件
令和3年度予算書を諮ったところ、単年度赤字予算について承認された。

令和3年5月16日

特定非営利活動法人 西浜サーフライフセービングクラブ 通常総会において

議長 篠 岳瑠



議事録署名人 長谷 雄大



議事録署名人 園田 俊



2021年度 特定非営利活動法人西浜サーフライフセービングクラブ組織図

理事会

○事務局
早川 慶太郎
荒井 洋佑
伊藤 光宏
河西 亮佑
大谷 健将
和田 桂子

○宿長
小菅 怜能
金川 もも

特別P（国際部）
鈴木 慎一

理事長
篠 岳瑠

監事
宮野 実

副理事長
浜地 憲太郎

副理事長
石川 修平

理事
（環境イベント）
伊藤 光宏

委員長
（環境イベント）
長谷 雄大

○副委員長
亀谷 重思

○委員

高木 湊太
城森 勇輝
大谷 健将
藤平 弘子
坂入 綾菜
青木 優一郎
大内 みのり
増田 雄也
大柿 日和
新川 翔吾
酒井 貫太
大川 佳太
高橋 勇人
細金 さくら

理事
（育成）
石川修平（兼務）

委員長
（育成）
坂入 綾菜

○副委員長
浜地 憲太郎

西田 昌貴
風間 隆宏
植木 将人
前田 葵
田中 一平
坂本 陸
松崎 みずき
園田 俊
神戸 友美
原 伸輔
飯塚 剛志
今井 恵子
易 礼美

理事
（イベントP）
浜地憲太郎（兼務）

委員長
（イベントP）

○副委員長
和田 桂子

酒井 雄吾
○委員
石井 誠
松永 祐
西田 昌貴
山崎 敦
手島 七海
吉本 翔
間根山 花子
青木 優一郎
渡邊 篤道

理事
（パトロール）
河西 亮佑

委員長
（パトロール）
上野 凌

○副委員長
遠藤勝久・新川将吾

○委員
加藤拓馬 田中彰
相澤庄太 手島七海
原伸輔 鈴木慎一
堀尾弘樹 篠郁蘭
山本聡美 篠原衛
大谷健将 園田俊
池田和裕 井出駿悟
片岡潤吾
増岡みづき
廣田諒
新部愛海
渡辺憲暁
秋山直輝
大野秀志
伊藤健太
古谷悠平
橋本 敦
志賀宏之
金川もも
内堀夏怜
佐久間優衣

理事
（ジュニアユース）
村山 貴司

委員長
（ジュニアユース）
園田 俊

○副委員長
坂本 佳風子

〈ジュニア低学年〉
神戸友美 川崎泰弘
福田瑛司 具志堅夕
坂入綾菜 山口颯太
松崎みずき 風間隆宏
浜地妃斗美
〈ジュニア高学年〉
大谷健将 和田弘子
横山綺実 坂本真徳
原伸輔
〈ユース〉
篠岳瑠 植木将人
坂本陸 浜地憲太郎
河西亮佑 上野凌
竹ノ内里佳 小林夢
七海元紀 新川将吾
篠郁蘭

理事
（スポーツ推進）
篠 岳瑠（兼務）

委員長
（スポーツ推進）
片平悠理亜メリッサ

○委員

荒井 洋佑
小田切 伸矢
荒井 閑
勝部 興
吉岡 愛菜
上野 真凜
阿部 真生
野崎 慎也
井出 駿悟
稲田 健太郎
小菅 怜能
河西 亮佑
園田 俊
上野 凌

2021 年度 パトロール委員会 活動内容

目標：0 zero ～Phase3～

➤ 5年連続の「無事故」を最終目標に設定

→過去最長の無事故を目標に設定し、委員会を中心に、一致団結してキャプテンをサポートします。

➤ 今後の西浜を背負う人材の確保

→今後のクラブを構築していくユース・大学生・新社会人のリクルートを強化し、人材確保を目指します。

➤ ライフガードスキルのレベルアップ

→症例検討会、勉強会、チーフ討論会を実施し、個人のレベルに応じてスキルアップできる場を設けます。

➤ 日本一のライフガード環境の構築

→過酷なライフガード環境を改善し、パトロールに集中できるように、日本一の環境整備を目指します

➤ 地域に愛されるパトロール文化の醸成

→パトロールを通して自治体や組合と協力し、地域に求められるライフガード組織を目指します

➤ 他の委員会と協力した、人材の育成、クラブ運営

→委員会同士で協力し合いながら、クラブ員の育成を念頭におき、事業を提案・実行していきます。

1. 夏季・片瀬西浜・東浜海岸におけるライフガード活動

場 所：片瀬東浜海水浴場、片瀬西浜・鵠沼海水浴場・江ノ島岩屋（海水浴場開設時）

参加者：クラブ員

➤ 内 容：

- ・ 海岸に訪れる老若男女、一人一人に安全で楽しい海水浴場を提供し、海浜での事故を出来る限り未然に防止する。
- ・ 藤沢市・海水浴場組合と連携を取り、より良い環境作りに努める。
- ・ 警察・消防・海上保安庁との相互理解を深め、パトロールの連携、災害時の協力体制を構築する。
- ・ 県下のLSCと連携を取り、神奈川県下の海水浴場の安全強化に貢献する。
- ・ 地域社会と相互に人材供給を行い災害時の協力体制を構築する。
- ・ 生と死を常に意識する状態の下で活動を共にすることで真の仲間（家族）を作る。

2. ライフガードテスト・夏季パトロール顔合わせ・準備

○ライフガードテスト	4月～開始予定
○症例検討会、勉強会	4月開催予定
○チーフ討論会	4～6月開催予定
○シーズン直前シミュレーション	5月開催予定
○顔合わせ	6月初旬で調整中
○夏季準備	6月の週末で実施予定
○パトロール審査会	11月参加予定
○スキルアップ講習会	通年を通して不定期開催

パトロールを通じて、社会人・学生・ジュニアユースを繋げる。また、年間を通して海に集まり、
ライフセービングを楽しむことができるように、各委員会と協力し合うことを意識する。

2021 年度 イベントパトロール委員会 活動計画

【活動要旨】

当委員会では定着と組織強化をキーワードに、次世代に繋がる組織作りと人材育成を目指します。また、各イベント単位で中心となるメンバーを育成し、継続的に西浜メンバーが主体でイベント運営を行う。さらにイベント運営マニュアルを構築し、活躍の幅を広げる。

2021 度も継続し取り組むテーマは以下の 3 つ

- A、 イベント運営ノウハウの蓄積と継承
- B、 地域スポーツイベントの定着と拡大
- C、 各委員会との連携強化、現場パトロール力の向上

◆は実施確定 ◇は予定のイベント

A. イベント運営ノウハウの蓄積と継承

- ・全日本選手権の独自運営のための組織向上
- ・各イベントのマニュアル構築
- ・イベント単位でのリーダー格人材の育成
- ・若手メンバーの参加率向上
- ・学年別、経験値別の到達度目標設定

<イベント予定>

- ◆湯河原クラブ 4/23. 24
- ◆KLA 神奈川県 LS 競技会 5/23
- ◆JLA 全日本南関東予選 9/19～20
- ◆JLA 全日本選手権 10/9～10

B. 地域スポーツイベントの定着と拡大

- 地域団体との関係の積極的深更、定着化
- 他団体からの西浜 LS 活動の引き込み
- 定期的収入の獲得
- 社会人メンバーの活動場所の提供
- パトロール以外のライフガード力の向上

<イベント予定>

- ◆グライドトライアル 4/29
- ◆横浜ボートショウ 4/15～18
- ◇東伊豆チャレンジ 5/15
- ◆追浜トライアスロン 6/13
- ◇2021 セーリング 7/24～8/4

C. 各委員会との連携強化、現場パトロール力の向上

- ・パワークラフトに対する知識/技術の向上(練習会の提供)
- ・パワークラフトステーションの定着(パトロール委員会との連携)
- ・該当分野での県内他クラブとの交流(合同訓練など)
- ・海上保安庁との関係強化
- ・船舶免許取得の推進
- ・WARMA 受講の推進
- ・シーバード西浜の運営力強化

<イベント予定>

- ◆長距離操船 4 月
- ◆県内クラブとの合同訓練 4 月 - 5 月
- ◆春のオーシャンクリーン 4 月下旬
- ◆秋のオーシャンクリーン 11 月下旬
- ◆IRB・PWC 定期練習 11 月 - 3 月

2021 年度 ジュニア・ユース委員会 活動計画

【活動目標】

- ・ライフセービング教育を通じ、水辺の安全教育普及や青少年の健全な成長を促す。
- ・ジュニア・ユースメンバーが、卒業後も様々なライフセービング活動を継続的、自主的に出来るように、活動方法などの提供をしていく。
- ・様々な人にライフセービングを通して、海の楽しさを知ってもらう。
- ・ジュニア・ユースに関わる保護者のプログラムへのサポートやクラブへの理解、協力を深める。

1、ジュニア・ユースプログラムの開催

『自分の命を自分で守れるジュニア・ユースライフセーバーを育成する』

- ・小学生から高校3年生を対象にジュニア・ユースプログラムを毎月第2、4日曜日行う。
- ・合同練習を行うなどして、他クラブと交流を図り、日本のジュニア・ユースライフセービングを盛り上げていく。
- ・子ども会、企業などを対象にジュニア・ユースライフセーバー教室1日体験プログラムを行う。学校訪問も含めて、団体ごとに希望の日程、内容に合わせて行う。

2、地域に根差した教育活動の開催

『藤沢市内の子どもたちに海の楽しさを伝え、安全教育を行う。』

- ・学校訪問を行い、地域に根差した水辺の安全教育を展開する。また、心の教育や環境への意識を高める指導を行う。(藤沢市協働事業)
- ・日程：6～9月 (予定)

3、様々な人に海の楽しさを知ってもらう

『知的障害がある子どもや幼児等を対象にライフセービングプログラムを行い、海の楽しさやライフセービング活動を知ってもらう』

- ・障害の有無に関わらず誰もが楽しむことができ、活動することができるライフセービング活動を行う。幼い時から海辺で安全に楽しく活動できる機会を作る。
- ・一般小学生や海水浴客の子どもたちを対象とした、半日ライフセービング体験プログラムを開催する。
- ・日程：8月～3月 (予定)

4、保護者の方も関わりやすいクラブ作り

『保護者の方々が、積極的にライフセービング活動に携わることができる機会を作る』

- ・保護者の方々にクラブの活動を理解していただき、主体的にジュニア・ユースプログラムのサポートに参加してもらえるよう、保護者対象のサポーター講習会を開催する。また、子どもが卒業した後も、保護者自らが西浜のクラブ会員として組織に携わってもらえるよう情報提供をする。

2021 年度 環境イベント委員会 活動内容

目的：環境保全に関する事業・催事に関する事業

- ① 私たちのホームビーチづくり～ポイ捨てのない海づくり～
 - ・ライフセーバーの存在を、お客さんにより認知してもらう活動をする（知名度向上）
→パトロールユニフォームの活用・オリジナルTシャツを活用
→SNS・映像等を活用して、広報活動を実施
- ② クラブ員がクラブ事業に参加する企画づくり
 - ・気軽に出来るビーチクリーン活動の実施
→パトロール期間中（16時ごろから）ビーチクリーンを行う
→参加して楽しめるグッズの配信
- ③ 環境問題への関心を深める
 - ・ビーチクリーン活動で拾ったゴミを追求する

1. ビーチクリーンの開催

日 時：毎月第2日曜日 9:30～11:00
場 所：片瀬西浜海水浴場ボードウォーク前砂浜
参加者：クラブ員及び一般市民
内 容：ビーチクリーンを通じ環境保全に
務め、地域社会との交流を図る

2. クラブハウス（殿網）清掃の開催

日 時：随時
場 所：クラブハウス（殿網）
参加者：クラブ員

2. 江ノ島オーシャンクリーンの開催

日 時：4月・11月第3日曜日
4/18・11/21(日曜日) 9:00～11:30
※中止の場合、翌月の第三日曜日に実施
場 所：江ノ島岩場
参加者：クラブ員及び一般市民
参加条件：ボードやカヌーなどの器材を使って
江ノ島までパドルをできる
集 合：クラブハウス（殿網前）
内 容：ゴミの吹き溜まりになりやすい江ノ島の岩
場の清掃
その他、境川・引地川などの清掃活動も計
画する予定。
※詳細は随時お知らせします。

3. 内部イベントの開催

目 的：クラブ内のコミュニケーション・交流のため
内 容：
5月 総会・「春のクラブ会」（ビレッジ）
8月 「夏のクラブ会」
「夏の納会」
10月 西浜カップ「秋のクラブ会」
12月 大掃除（殿網、ビレッジ）
1月 「冬のクラブ会」（山本公園）
毎月 ビーチクリーン後 殿網清掃
その他、適宜計画予定。
※随時 委員会内でミーティングなどを実施。

4. 外部イベントの開催

目 的：他クラブ・地域との連携のため
内 容：
9月 西浜町町内会 地引網
1月 新春餅つき大会「冬のクラブ会」
（山本公園）
その他、適宜計画予定。

2021 年度 スポーツ推進事業計画

2021 年度 目標

- ・クラブ員の競技力のボトムアップを図り、全日本総合 5 位入賞を目指す。
- ・ライフセービングスポーツを選手としてだけでなく、審判員や、生涯スポーツとしてクラブ員が楽しめる環境づくりをする。
- ・ワールドマスターズ 2022 にマスターズ世代のクラブ員で参加し、西浜から日本のマスターズ世代を盛り上げる。

1. 競技会への選手派遣

○JLA 主催

- ・全日本プール競技選手権 5. 8-9 (横浜国際プール) / ・マスターズ競技会 (ビーチ) 5. 29-30 (横浜海の公園)
- ・全日本種目別選手権 6. 12-13 (若狭和田ビーチ) / ・マスターズ競技会 (サーフ) 8. 28-29 (外浦海岸)
- ・全日本選手権 10. 9-10 (片瀬西浜・鵠沼海岸) / ・全日本 SERC (開催場所未定 11 月～12 月)

○KLF 主催

- ・神奈川県選手権 未定 / 神奈川県プール競技選手権 未定

○その他

- ・ソーリーカーニバル 未定

2. 練習会の開催

○練習会

- ・定期練習 (毎月第 2・4 土日) 海でのスイム・ボード・サーフスキー、ビーチでのラン、プールでのスイム、SERC トレーニングなどを企画します。
- ・マスターズ練習会 (毎月実施) ライフセービングを始めたばかりの初心者や、社会人からライフセービングを始めた方、久々に海に入る方々を対象に、パドルボードを中心としたトレーニングで、海を楽しみ、ライフセーバーに必要な体力や技術の向上、そしてワールドゲームズの出場を目指します。

○ライフガードテスト

4 月から 8 月に 1 回 ラン・スイム・ボードとライフセーバーに必要な体力・技術をテストします。パトロール委員・育成委員とも連携して取り組み、レスキュースキルの向上も目指します。

○審判員

競技から離れたメンバーや、選手としてではなく大会に携わりたいクラブ員が生涯、ライフセービングスポーツを楽しめる一つのきっかけとなるように、育成委員と連携してクラブ員対象の C 級審判講習を開催し、クラブ員がライフセービングスポーツの理解を深められるように活動します。

3. 西浜カップの開催

2021 年 10 月 24 日 (日) (毎年 10 月第 4 週日曜日に開催) 片瀬東浜

クラブ員の交流の場として、ジュニア、中学生、高校生、大学生、社会人など様々な世代のクラブ員同士、みんなが楽しめるような海岸での競技会を開催します。

4. 西浜合宿の開催

2022 年 2 月 or 3 月開催予定

学生クラブ員が主体となり、体力・技術・知識の向上を目的に行い、競技力向上だけでなくパトロールに繋がる内容を取り入れた合宿を開催します。

2021 年度 育成委員会 活動内容

人材育成の要となりライフセーバー同士が高めあえる組織を目指す。
～ライフセーバー共育～

1. 方針

- すべての講習会において感染防止対策を徹底していく。

【NISHIHAMA Learning の開催】（クラブ員の学び合いの場の提供）

- 年間を通してライフセービングの知識、技術、西浜の精神など全てのクラブ員が共に学び合える場を設ける。
- 若いメンバーがインストラクションの楽しさを知り、インストラクター取得に繋げる（スタッフ参加の可視化）
- インストラクターがクラブ員に向けて指導する機会を作り学びの場を増やす。

【JLA Academy の開催】（有資格者の養成）

- JLA Academy 講習会を開催し、習得度が高いライフセーバー（有資格者）を養成する。
- アドバンスライフセーバーのカリキュラムを西浜独自で作成し、パトロールに特化した講習会にする。また誰が講習しても内容に変わらないような体制にする。アドバンスを指導できるインストラクターを育成するためインストラクター研修会も実施する。講習会運営をできる者を増やすために研修会も実施検討中

【藤沢市共同事業へインストラクター派遣】

- 在籍している優秀なインストラクターを藤沢市共同事業に参加してもらえるような体制を作る。

2. 活動内容

ア NISHIHAMA Learning

BLS Learning 主にビーチクリーン後や練習後の時間を利用[BLS 指導員以上、委員長が認めた者]

※目標：最後に参加者に向けてデモンストレーションを披露し、興味を持ってくれた方に個別指導できるような流れを作る。

Rescue Learning バッジテスト時やレスキュー練（パトロール委員会、スポーツ推進委員会共催）[サーフ指導員、委員長が認めた者]

保護者対象 Learning：6 月・12 月・3 月（ジュニアユース委員会と共催）

リペア Learning：12 月

その他：サポーター講習会（アクラブ等 2 回開催を目標）

イ JLA Academy

【WS 講習会】日時：5 月 16 日（ビレッジ）

【BLS 講習会】日時：5 月 30 日（ビレッジ）

【更新講習会】日時：9 月 25 日（ビレッジ）

【ベーシックサーフライフセーバー講習会】日時：6 月 12、13、19、20 日

以下検討中 [C 級審判員養成講習会] [IRB 講習会] [インストラクターのための講習会運営研修会]

ウ 藤沢市共同事業にインストラクター派遣（実施調整中）

「海と命の大切さ」を小学生にわかりやすく伝えるには講習しなれているインストラクターを可能な限り派遣する。誰でもできることではないので質を確保することが藤沢市の安全へと繋がる。指導してくれたインストラクターの時間を集計してクラブ内に公表していく。

3、西浜 SLSC 所属 JLA 指導員

JLA 指導員：植木将人、荒井洋佑、飯塚剛志、石川修平、泉田昌美、今井恵子、入谷拓哉、江泉嘉文、遠藤大哉、風間隆宏、神戸友美、北矢宗志、小林真以、坂入綾菜、坂本陸、篠岳瑠、園田俊高木溪太、浜地憲太郎、原伸輔、間根山花子、深山元良、上野凌、坂本真徳

2021 年度 事務局 活動内容

【活動目標】：持続可能なクラブ運営の構築

- クラブ員の満足度向上・対外アピール
- 安心安全な宿舎の確保、学生支援
- 会員管理の整備
- 事務局メンバー育成、他クラブとの連携・協力

1、クラブ員の満足度向上・対外アピール

『クラブ員向けの情報発信、活動環境の改善を目指す』

- ・ 情報発信の充実：各種案内の送付、SNS・メールリストの活用、クラブ員向け HP の充実
- ・ 器材管理の充実：器材の補修・貸出・グッズ管理販売
- ・ 保険の加入
- ・ 総会・理事会：準備・運営の効率化
- ・ ボランティアポイントの拡充

『クラブのステータスアップを目指す』

- ・ 渉外の充実：契約関係・外部からの依頼対応の効率化
- ・ 外部向け広報の充実：HP 及び FB の管理、パンフレットの作成、総会資料作成、動画広報
- ・ 地元スポンサーとの連携

2、安心安全な宿舎の確保、学生支援

- ・ 女性宿舎の維持管理、避難器具の設置
- ・ 夏期学生食事代及び交通費支援
- ・ 施設管理、サーフボード積立、学生支援のための寄付制度継続 など

3、会員管理の整備

- ・ 名簿管理、会員カード・会員パスポート
- ・ 会員・寄付者への情報提供
- ・ JLA-ID の連絡フォロー
など

4、事務局メンバー育成、他クラブとの連携・協力

- ・ 事務局メンバーの積極的育成、複数人での作業を目指す
- ・ 他クラブの事務局との連携・協力
など

Lifesaver of the year NISHIHAMA 2020 ノミネート

・上野 凌（うえの りょう）

・コロナ禍、委員会内でリーダーシップを発揮しオンラインでの症例検討会や顔合わせの実施。感染に対し不安をもつクラブ員に対して、市と連携して正しい感染対策の実施、説明を行いメンバーの確保に尽力した。そして、観光課や市議会議員等の夏季海岸利用についての関係機関に対して、between flags等のプレゼンを行い、ライフセービングが地域にもたらす重要性を説くことで連携を強めるとともに、地域の海岸を守ることに寄与した。さらに、現場に立ちつつ事務仕事も同時にこなし、給料換算システムの構築、学生に対し事務処理のPCスキルの講習会を行い、将来を見据えた人材育成もこなしていた。年間を通して多方面に渡り、彼ほど西浜・ライフセービングに情熱を燃やし、尽力したメンバーはいないのではないかな。

パトロール委員会



・和田 桂子（わだ けいこ）

・各種適用される助成制度をフル活用し、申請などの事務手続きを実施した。結果、それらの資金がクラブの収益の大きな部分を占めるとともに、器材の整備などにも充当され、今だけではなく中期的な運営の安定化及び各委員会ビジョン達成の前進に大きく貢献した。

イベントパトロール委員会



・大谷 健将（おおたにけんしょう）

・人柄が良く、指導者としてもその能力を遺憾なく発揮。クラブの根幹と言える夏季パトロールに委員会内で最も参加していた。
・定期プログラム、特別活動を通じて、子どもたちの近い目線に立ち、分かり易い言葉を選び伝えることで、ジュニアメンバーが真摯に受け止めて、取り組む姿勢を引き出すことができていた。

ジュニアユース委員会



・高橋 勇人（たかはしゆうと）

・各委員会、学生の所属が少ない中で、積極的に様々な活動に参加し、企画、運営を行ってきた。また、クラブハウスの管理や、西浜PVの作成に携わり、学生はもちろん、クラブ員の模範となるような行動をしてきた。最近では就職活動で忙しい中、委員会事務の使役をしてくれており、委員会として助かっていることは言うまでもないが、クラブの予算や庶務事務にも興味を示してくれている。今後、クラブとして貴重な人材になることを期待して推薦する。

環境イベント



・荒井 洋佑（あらいようすけ）

・昨年の西浜カップの実行委員長として、コロナ禍での感染予防を工夫したうえでクラブ員が楽しめるイベントの企画・運営を実施した大会関係が軒並み中止になる中、そのような機会を設けた事は、クラブ内の大きな活力となった。
・スポーツ推進委員会の理事退任後も、継続してクラブの運営に大きく貢献している。

スポーツ推進委員会



・西田 昌貴（にしだ まさたか）

・クラブ加入後から多くの講習会の指導員として参加して、多数のライフセーバーの育成に携わった実績がある。
・講習会の運営は報告書やライフセーバーズ手続きが多岐にわたる。それを人脈を駆使し解決してくれ、2020年度の講習会は成功となっている。トラブルにも怯えることなく突き進む姿は、育成委員会のみならず指導員としても模範となるため推奨する。

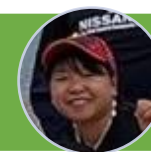
育成委員会



・和田 桂子（わだ けいこ）

・2019年度より会員管理を担当。ご自身の本業や他ボランティアスタッフの経験を活かされ、事務局全体の事務遂行能力が格段にアップした。
・コロナ禍において、各種助成金の申請を実施。活動自粛により事業費が落ち込む中で、NPO法人持続化に大きく尽力された。

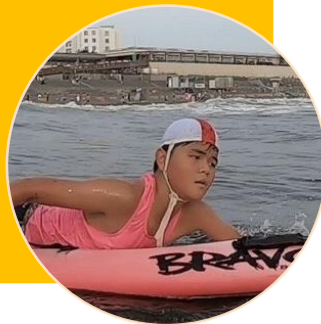
事務局



・【ジュニア】稲葉 慧（いなば けい）

- ・ 小学6年生
- ・ 練習では積極的に前に出て、周囲のメンバーを牽引することが出来ている。練習以外の場面でも、周囲を気遣い声をかけ、仲間を大切にする姿が見られた。こうした自らを磨きながら集団を巻き込む事ができる姿が他の見本であり、Lifesaver of the year NISHIHAMAにふさわしい。

ジュニアオブザイヤー



・【ユース】菅谷 珊斗（すがや さんと）

- ・ 中学生
- ・ この活動の人数がまだ少ない時から、毎回練習の前に誰よりも先に来て殿網の掃除をし、活動スペースを大切にしていることを体現。仲間を巻き込みながら取り組んでいる。
- ・ この1年間誰よりも海に入り、本当の意味で活動を楽しんでいる。自身の成長に満足せず、常に前を見続け努力し続けている。

ユースオブザイヤー



2020年度に寄付をいただいた皆様

昨年度、西浜SLSCに寄付をいただいた皆様にクラブ員一同で感謝の意を表したく、お名前を掲載させていただきます。

複数口の寄付をいただいた方

石田 秀樹 様
伊東 秀崇 様
上野 義洋 様

菅野 靖 様
志賀 孝一 様
篠原 航 様

土志田 仁 様
SATO BRETT LEE GEORGE 様

寄付をいただいた方

相澤 重男 様
相澤 庄太 様
相澤 千春 様
青木 優一郎 様
青柳 真人 様
秋岡 伸一 様
秋田 弘樹 様
荒井 閑 様
荒井 洋佑 様
池戸 智美 様
石井 尚之 様
石井 誠 様
石川 修平 様
伊藤 健太郎 様
伊藤 紀子 様
稲葉 博久 様
井原 洋平 様
入谷 拓哉 様
植木 将人 様
上野 凌 様
江頭 祐一 様
易 礼美 様
大谷 健将 様
小川 登 様
小倉 浩満 様

小澤 知史 様
小田 丈勸 様
小田切 伸矢 様
風間 隆宏 様
片平 悠理 亜メリッサ 様
河西 亮佑 様
北矢 宗志 様
後関 裕輔 様
齋藤 千恵 様
坂本 千佳子 様
坂本 靖 様
佐藤 慶太 様
佐藤 美智代 様
澤田 喜生 様
篠 郁蘭 様
篠 岳瑠 様
篠原 正貴 様
城間 盛隆 様
武田 昭仁 様
田勢 美貴 様
天川 仁 様
中島 章 様
南部 孝二 様
西嶋 大 様
萩原 隆次郎 様

橋本 淳太郎 様
花岡 香那 様
浜地 憲太郎 様
早川 慶太郎 様
原 絲子 様
廣江 史子 様
實槻 圭洋 様
堀口 敬洋 様
本郷 多久也 様
松山 ミッシェル 実香 様
三浦 秀樹 様
見角 麻理子 様
宮野 実 様
深山 元良 様
村川 新 様
村山 貴司 様
森 順子 様
山切 敏郎 様
山口 孝史 様
山崎 洋 様
山本 准三 様
和田 桂子 様
渡部 浩 様



昨年度の寄付使用実績

2020年度は81名の皆様より「312,000円」の寄付をいただきました。そのご厚志の使用実績としまして、

- ・夏パトロール学生食事補助 33,000円（コロナ禍で自炊が出来ませんでした。感染対策に配慮し、縮小開催した納会時、大学4年生の会費補助に使用しました。）
- ・サーフボード新艇の積立金 0円（海浜環境にあった艇の運用方法について再考中です。）
- ・クラブハウス維持管理 441,045円

合計「474,045円」の一部として使用しました。

寄付制度の目的

①夏のパトロールにおける学生食事補助 等

7月末より学生が泊まり込む際の、自炊する食材費に使っています。

②サーフボード等の維持管理 等

1996年に中古艇を購入して20年以上経過。新艇購入に向けて積立をしています。



③クラブハウスの維持管理

2018年度に室内の改装をしました。普段は、艇庫のある外回りが主な作業。砂と潮との闘いです。昨年度は、艇庫骨組みの補修を行いました。



④ジュニアユースプログラムのシャワー等の水道光熱費

昨年度より、ジュニアユースプログラムの一部にも使用していきます。子供たちはクラブの宝です。



2021 年 5 月 16 日

2020 年度第 19 回通常総会結果報告

特定非営利活動法人
西浜サーフライフセービングクラブ
理事長 篠 岳瑠

拝啓 初夏の頃、クラブ会員の皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。
平素より当クラブ事業に格別のご理解とお力添えをいただき、厚く御礼を申し上げます。

5 月 16 日（日）にサーフビレッジにて通常総会を開催いたしました。正会員 57 名（2021 年 3 月 31 日現在）のうち、出席者 14 名（リモート出席 10 名含む）、委任状 26 名 計 40 名となり、定款第 27 条、定足数の条件である、正会員半数を満たしましたので成立となりました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮し、理事のうち 4 名のみがサーフビレッジに集合。出席者の半数以上は WEB 会議ツールを使ってのリモート出席でした。WEB 会議の強みである閲覧の手軽さから、一般会員 8 名の方にも参加していただきました。

その場におきまして、第 1 号から第 5 号議案に承認をいただきました。また、令和 2 年度会計について適正かつ公正に処理されているとの監事報告がございましたので、ここに報告をいたします。

敬具

記

本通常総会における主な報告内容は以下のとおりです。

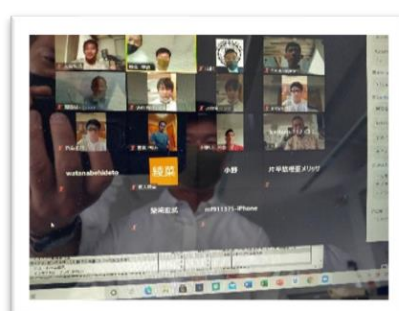
1、事業報告

クラブ設立 58 年目にして、夏期海水浴場が初めて開設されなかったのが最たる報告になります。コロナ禍において藤沢市、海水浴場組合と連携し、7/18 から 8/31 までの 10 時～15 時の間、「夏期海岸藤沢モデル 2020」「令和 2 年度藤沢市夏期海岸ルール」に基づき、マリンスポーツ自粛エリアに当クラブのライフセーバーを配置して、監視等の活動を行いました。Swim between flags の導入など、新たな試みのあった夏でした。2020 年春の緊急事態宣言下では各事業とも一時中断。競技会が殆ど開催されない異例の年でした。

2、会計報告、活動予算案について

2021 年度単年度で赤字予算が承認されました。前年度はコロナ禍において、主にパトロール、イベントパトロール事業の収益減となったところを、持続化給付金、家賃補助給付金、スポーツ振興助成金等により 338 万円の助成金を得た事が単年度 56 万円の正味財産減で収まった大きな要因となっています。ジュニアユースでは少人数 2 部制にする事で感染予防に配慮し、その分人件費は増となっています。IRB 新艇、バギーを購入し、オリンピックを含めた各種イベントガード、パトロールへの対応に活用する予定です。マリブ 5 本、ニッパーボード 10 本購入。助成金の一部は、宿泊補助や船舶免許・LS 資格取得補助に活用しております。

以上



「リモート総会開催の様子」